





(2) 前回検査結果との比較

25歳時の節目の検査を受診した方の前回結果との比較については、表3のとおり。

前回検査でA判定（A1及びA2判定）と判断された3,379人のうち、25歳時の節目の検査でA判定（A1及びA2判定）は3,299人（97.6%）、B判定は80人（2.4%）であった。

また、前回検査でB判定と判断された115人のうち、25歳時の節目の検査でA判定（A1及びA2判定）は35人（30.4%）、B判定は80人（69.6%）であった。

表3.前回検査結果との比較

		前回検査結果 計 注1	25歳の節目の検査結果内訳 注2				
			A		B	C	
			A1 イ (イ/ア)	A2 ウ (ウ/ア)			エ (エ/ア)
前回 検査 結果	A	A1	1,385 (100.0)	1,127 (81.4)	245 (17.7)	13 (0.9)	0 (0.0)
		A2	1,994 (100.0)	317 (15.9)	1,610 (80.7)	67 (3.4)	0 (0.0)
	B	115 (100.0)	4 (3.5)	31 (27.0)	80 (69.6)	0 (0.0)	
	C	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	
	受診なし	1,740 (100.0)	780 (44.8)	876 (50.3)	84 (4.8)	0 (0.0)	
計		5,234 (100.0)	2,228 (42.6)	2,762 (52.8)	244 (4.7)	0 (0.0)	

注1 上段は25歳時の節目の検査結果確定者の前回検査結果（人）。

注2 上段は前回検査結果に対する25歳時の節目の検査結果内訳（人）。下段は割合（%）。

2. 二次検査結果

(1) 二次検査実施状況

対象者244人のうち168人（68.9%）が受診し、そのうち160人（95.2%）が二次検査を終了した。

その160人のうち、詳細な検査の結果、11人（A1相当の1人とA2相当の10人）（6.9%）は、一次検査基準でA1、A2の範囲内であることが確認された（甲状腺に疾病のある方を含む）。149人（93.1%）はA1・A2相当以外と確認された。

表4.二次検査進捗状況

	対象者 数 (人)	受診者数(人) 受診率 (%)	結果確定数(人)				
			確定率 (%)	A1相当	A2相当	A1・A2相当以外	
						エ(エ/ウ)	オ(オ/ウ)
ア	イ(イ/ア)	ウ(ウ/イ)	エ(エ/ウ)	オ(オ/ウ)	カ(カ/ウ)	キ(キ/カ)	
平成4年度生まれ 対象者	98	81 (82.7)	78 (96.3)	0 (0.0)	3 (3.8)	75 (96.2)	8 (10.7)
平成5年度生まれ 対象者	102	84 (82.4)	80 (95.2)	0 (0.0)	7 (8.8)	73 (91.3)	5 (6.8)
平成6年度生まれ 対象者	44	3 (6.8)	2 (66.7)	1 (50.0)	0 (0.0)	1 (50.0)	0 (0.0)
合計	244	168 (68.9)	160 (95.2)	1 (0.6)	10 (6.3)	149 (93.1)	13 (8.7)

## (2) 細胞診等結果

穿刺吸引細胞診を実施した方のうち、7人が悪性ないし悪性疑いの判定となった。

7人の性別は男性2人、女性5人であった。また、二次検査時点での年齢は24歳から27歳（平均年齢は25.3歳±1.0歳）、腫瘍の大きさは10.8mmから49.9mm（平均腫瘍径は22.6mm±15.6mm）であった。

なお、7人の前回検査の結果は、A2判定が1人、B判定が1人、未受診が5人であった。

表 5.細胞診結果(平均年齢と平均腫瘍径の( )内は範囲を示す)

25歳時の節目の検査対象者	
・悪性ないし悪性疑い	7人 注
・男性：女性	2人：5人
・平均年齢	25.3±1.0歳（24-27歳）、震災当時17.1±0.7歳（16-18歳）
・平均腫瘍径	22.6±15.6mm（10.8-49.9mm）

注 手術症例については別表2のとおり。

## 3. こころのケア・サポート

### (1) 一次検査におけるサポートについて

平成29年4月から公共施設等の一般会場での一次検査では検査結果説明ブースを設置し、検査終了後、医師が超音波画像を提示しながら、結果を説明している。令和2年3月31日現在で、検査結果説明ブースを利用した方は受診者428人のうち427人(99.8%)であった。

### (2) 二次検査におけるサポートについて

福島県立医科大学内にサポートチームを立ち上げ、二次検査対象者に対して、心配や不安へのこころのケア・サポートを行い、その他WEB相談による質問・相談を受け付けるなどの対応を行っている。

なお、25歳時の節目の検査開始以降、令和2年3月31日現在で、61人のサポートをしており、性別は男性14人、女性47人であった。この方々に延べ124回の相談対応等をしており、その内訳は初回受診時61回（49.2%）、2回目以降受診時63回（50.8%）であった。

また、保険診療移行後についても病院のチームと連携し、継続して支援を行っている。

別表 1

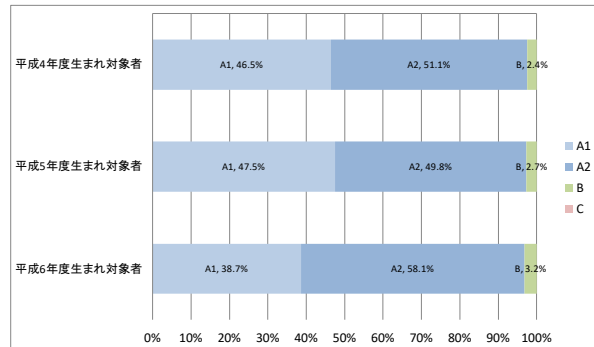
1 検査結果確定者の性別

(単位 人)

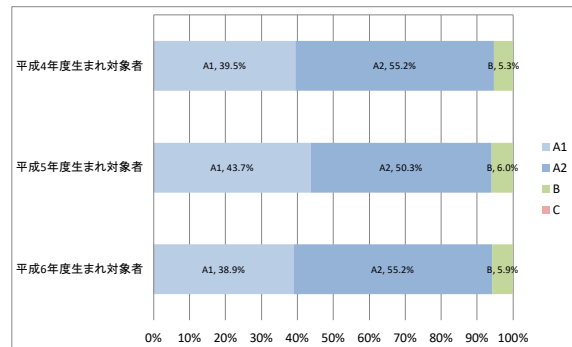
令和 2 年 3 月 31 日現在

判定・性別 対象者	A						B			C			合計		
	A1			A2			男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	男性	女性	計	男性	女性	計									
平成4年度生まれ対象者	348	592	940	383	828	1,211	18	80	98	0	0	0	749	1,500	2,249
平成5年度生まれ対象者	337	605	942	353	697	1,050	19	83	102	0	0	0	709	1,385	2,094
平成6年度生まれ対象者	121	225	346	182	319	501	10	34	44	0	0	0	313	578	891
合計	806	1,422	2,228	918	1,844	2,762	47	197	244	0	0	0	1,771	3,463	5,234

年齢階級別判定区分の分布【男性】



年齢階級別判定区分の分布【女性】

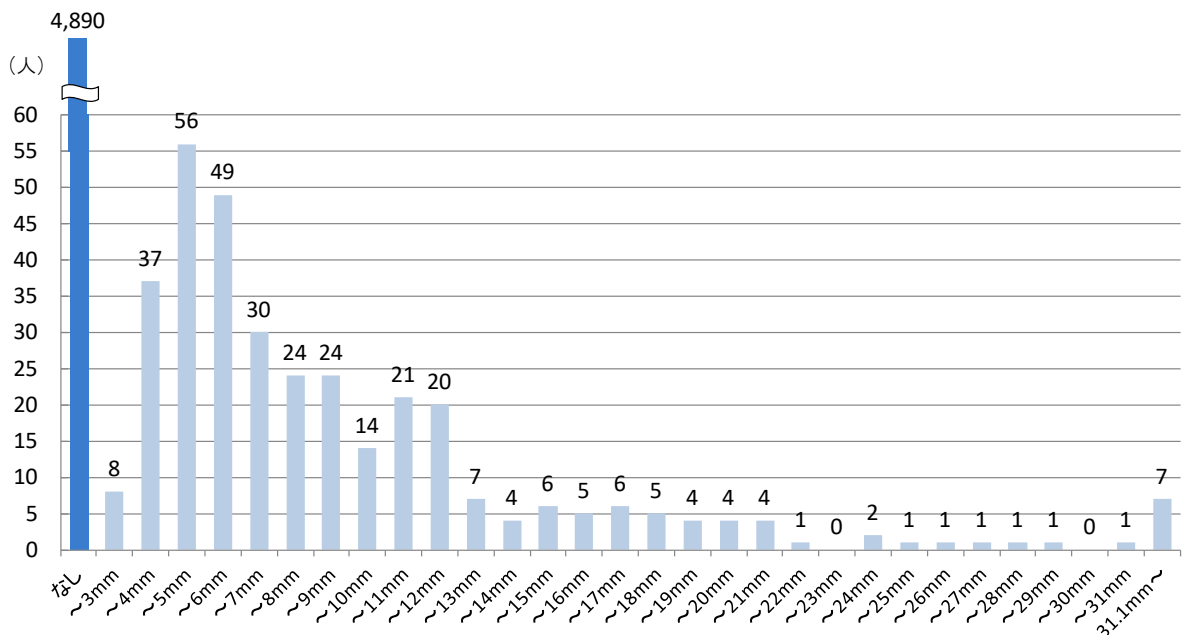
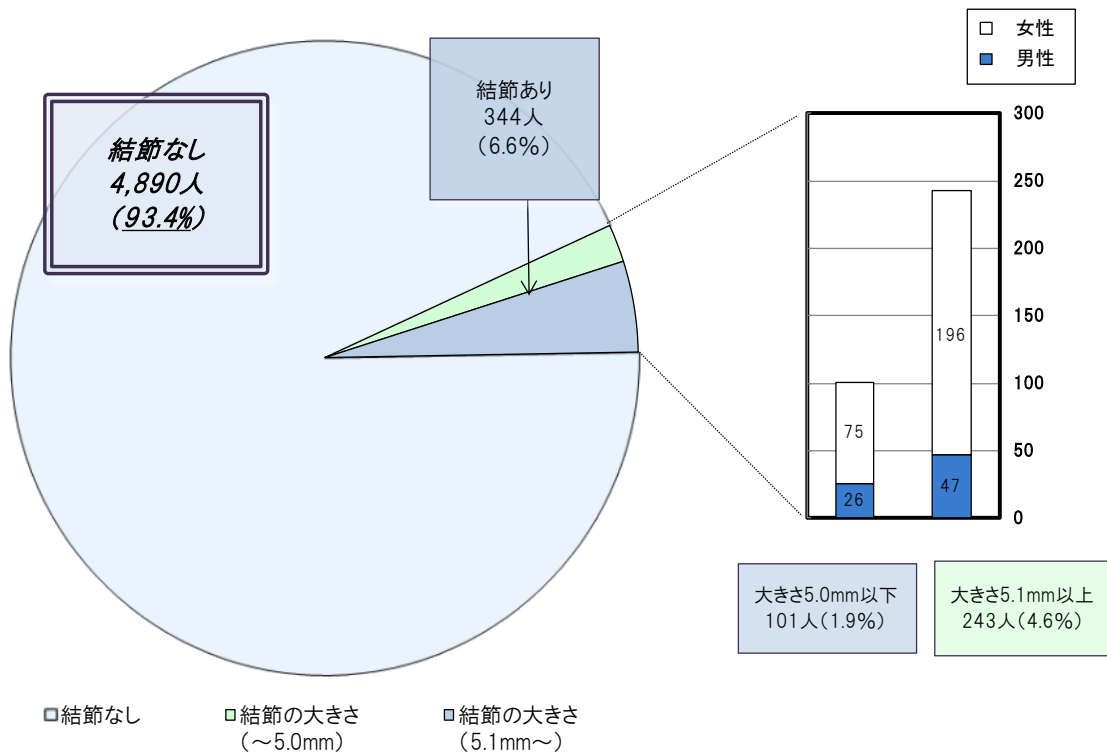


## 2 結節の有無及び大きさ

(単位 人)

令和2年3月31日現在

結節の有無・大きさ	全体		判定区分	割合
	男性	女性		
なし	4,890	1,698	A1	93.4%
～3.0mm	8	1	A2	1.9%
3.1～5.0mm	93	25		
5.1～10.0mm	141	28	B	4.6%
10.1～15.0mm	58	14		
15.1～20.0mm	24	2		
20.1～25.0mm	8	2		
25.1mm～	12	1		
計	5,234	1,771		

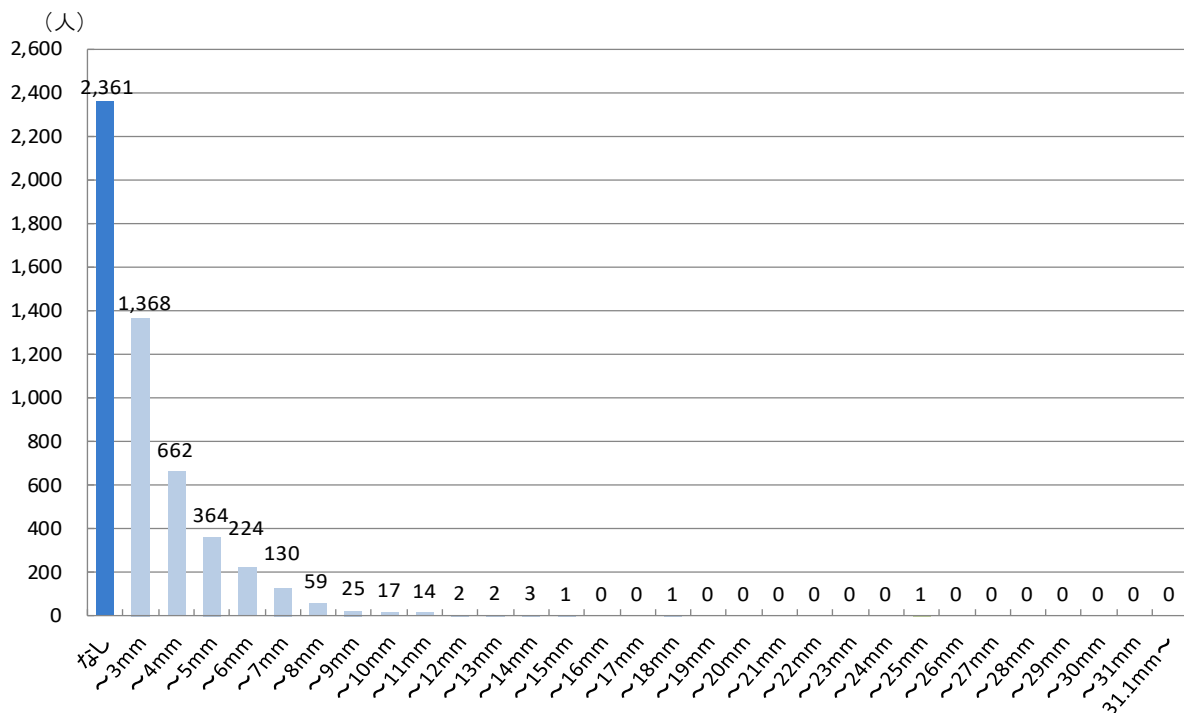
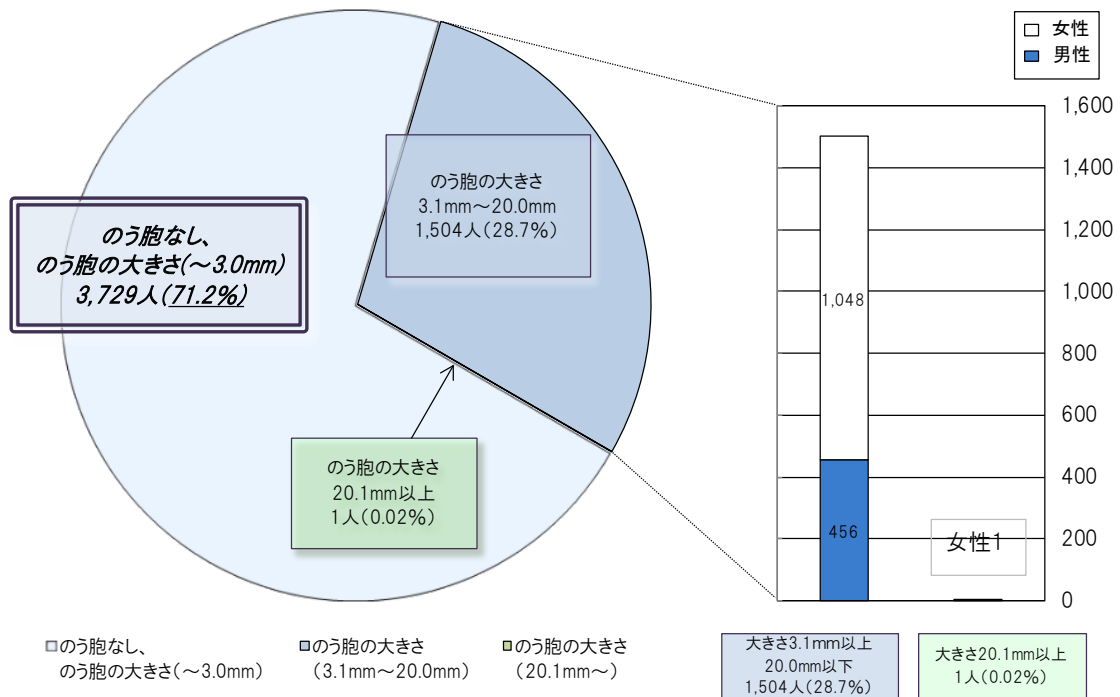


### 3 のう胞の有無及び大きさ

(単位 人)

令和2年3月31日現在

のう胞の有無・大きさ	全体	判定区分		割合	
		男性	女性		
なし	2,361	839	1,522	A1	71.2%
～3.0mm	1,368	476	892		
3.1～5.0mm	1,026	329	697	A2	28.7%
5.1～10.0mm	455	122	333		
10.1～15.0mm	22	4	18		
15.1～20.0mm	1	1	0		
20.1～25.0mm	1	0	1	B	0.02%
25.1mm～	0	0	0		
計	5,234	1,771	3,463		



別表 2

悪性ないし悪性疑い者の手術症例

25 歳時の節目の検査対象者

- ・悪性ないし悪性疑い 7 人（手術実施 4 人：乳頭癌 3 人、濾胞癌 1 人）